

ぼくが生きてる、ふたつの世界 上映会 開催事例

<横須賀手話サークル連絡協議会 様>

上映日：2026年02月08日（日） 場所：はまゆう会館 ホール（神奈川県横須賀市）



関係者以外にも県内各地から一般参加が増え、理解促進につながりました。

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

一般公開が横須賀で行われなかったため、鑑賞できずにいたところ、東京2025デフリンピックにちなみ、神奈川県聴覚障害者協会が上映会開催を呼び掛けていたため開催しました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

横須賀手話サークル連絡協議会を構成する8サークル会員です。

●後援などをどのように依頼し、どういった協力を得られましたか？

横須賀市、横須賀市聴覚障害者協会、横須賀中途失聴・難聴者の会からは、手サ連（手話サークル連絡協議会）行事の後援を毎年もらっています。

●資金はどのように捻出しましたか？

目標来場者数300人をほぼ達成でき助成金を使うことなく、入場料収入で賄うことが出来ました。

●地域の方や関係者にどのように告知をしましたか？

市内の行政センター、コミュニティーセンターへのポスターチラシの配架、神奈川県手話サークル連絡協議会へのチラシ配布、神奈川新聞の地域イベント情報コーナー掲載を行いました。

●上映会当日の様子や反響を教えてください。

「優しい気持ちになりました。」
「日常で今まで知らなかった、触れてこなかった世界を感じることができました。」
「伝わらないことの辛さ、悲しさ、もどかしさ、映画の方がよく分かりました。」
「親子ってすばらしいと思いました。」
「親子の関係は聴こえる、聴こえない関係ないですね。」
「母親と息子の心情が、よく分かりました。」
などの高評価が多く寄せられました。

●今回の活動を通じて、地域作りや今後の活動に繋がりましたか？

チラシをみた神奈川新聞社の担当者から、地域イベント情報コーナー掲載の案内がありました。
今回の作品は一般公開された作品で知名度もあるので取り上げてもらえたと思いますが、いままで地域新聞へこちらから掲載依頼をしたことがありませんでした。
今後はダメ元で頼んでみるのも良いと思います。

●上映会を開催してみて、いかがでしたか？

三浦半島地域の逗子市、横須賀市、三浦市の他や、相模原市、秦野市、平塚市など神奈川県内からも、お越しいただきました。

今までは自主制作作品の上映会だったので、観客は手話サークル関係者がほとんどでした。
今回は公開から2年ほどの知名度の高い俳優が出演する作品だったので、一般参加が3割位ありました。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

上映会がまだ少なく、観たいと思っている方が多くいると思うので、他地域での開催を、計画、ご検討ください。
ネット配信で観れますが、大きなスクリーンで観る没入感は心地よく、大勢で観る映画の良さを体感できます。

横須賀手話サークル連絡協議会

市内8つの手話サークルで構成され、手話の学習と交流の他に年一回、講演会、交流会の開催など市民の方々にろう者や手話に対する理解や関心を高める活動を行っています。